

令和4(2022)年度 基盤研究(S) 審査結果の所見

研究課題名	海底アーキアを通じて理解する私たち真核生物の成り立ち
研究代表者	井町 寛之 (国立研究開発法人海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門(超先鋭研究開発プログラム)・上席研究員) ※令和4(2022)年6月末現在
研究期間	令和4(2022)年度～令和8(2026)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】 本研究は、世界初のアスガルドアーキア培養株の細胞構造やゲノムの解析、確立した単離培養技術による新たな培養株の取得、環境ゲノム解析等を通じて、真核生物誕生に関する新たな仮説を提唱することを目指すものである。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 世界唯一の培養株や培養技術を持つというアドバンテージを生かして、長年の謎であった真核生物誕生過程の解明に迫るとい世界トップクラスの研究成果が期待できる。非常に独創的かつ挑戦的なアプローチを計画しており、世界を驚嘆させる様な成果が達成される可能性がある。</p>